



かえったら イえの人に よしくね

「税を考える週間」 街頭キャンペーン

11月12日、ハシドラッグ国見店で「税を考える週間」に合わせ、街頭キャンペーンが開催されました。

キャンペーンでは太田町長が一人ひとりに、今年の「税に関する作品コンクール」の受賞作品が印刷されているPR紙入りのカイトを手渡し、啓発を行いました。また、くにみももたんもキャンペーンに参加し啓発のお手伝いをしました。



このチョコバナナいくら？

おみせやさん いらっしゃいませ♪

11月14日、くにみ幼稚園で「お店やさん」が行われました。年中・年長児は金魚すくい・綿あめ・クレープ屋などのお店を出しました。園児が全て手作りし、「いらっしゃいませ〜」と大きな声で本物さながらの客寄せをしていました。お客役の年少児も手作りのお金を握りしめ買い物をしました。かわいいお店やさんは大繁盛でした。



蕎麦打ち1年生、でも出来ばえは大人なみ

今回も温かい心と お蕎麦ありがとうございました

11月16日、上野台仮設住宅に飯館村民ら約50人が集まり、埼玉県のしらおか蕎麦クラブから蕎麦のふるまいを受けました。今回は入所者の他に仮設でお世話になっている方々をお招きしました。ただ食べるだけでなく、蕎麦打ち体験もあり、蕎麦打ちに悪戦苦闘する姿も見られましたが、会場は笑いが絶えず、穏やかな雰囲気の中美味しい蕎麦を頂きました。



1億円ってこんなに重いんだ！

出張租税教室 in 国見小学校

11月21日、国見小学校で租税教室が6年生を対象に開かれました。町の税務課職員より児童が参加できる選択形式のクイズなどで税金の仕組みを学びました。また、1億円の模造紙幣に実際に触れたりする体験もしました。最後には児童から質問が出るなど、税金に関心を持ち、大切さを実感することができました。



今年も美味しいお蕎麦ごちそう様でした

新そばまつり 小坂まちづくりの会

11月23日、小坂の農村総合センターで小坂まちづくりの会主催のそば祭りが開催されました。

当日打ち立てのそば450食は完売。来場者は新そばの味、のど越しを楽しみました。今年は、蕎麦の他にキャンドルに絵づけする体験コーナーもあり、子どもたちは一足早いクリスマス気分を味わいました。



笑顔とあったかい気持ちを 配達します



お弁当と笑顔を届けます

10月29日、JA伊達みらいふれ愛グループさくら会が、町内に住む77歳以上の一人暮らし、82歳以上の二人暮らしの高齢者世帯に手作りのお弁当を配達しました。さくら会のボランティアさんがお弁当を届けると、皆さん、ぱあっと顔を輝かせ「いつも美味しいお弁当ありがとう」と言われ、ボランティアさんにも笑顔が見られました。



県北魂みせてやる！

青少年育成町民会議 奨励金交付

11月18日、国見町青少年育成町民会議（会長 太田久雄町長）は、須賀川市で開催される福島県中学生新人卓球大会県大会に出場する県北中学校女子卓球部（部長 田島亜美さんほか7人）に対し健闘を祈り奨励金を岡崎忠昭教育長から交付しました。



4年ぶりに街をねり歩く

4年ぶりに 神輿・山車が三地区を駆け巡る

11月3日小雨の中、大木戸・高城・山根地区で4年ぶりに神輿・山車が出て例大祭が開催されました。

山車は各町内会で所有しており、神輿の後に続きました。山車には子どもたちも引手として参加し、各家々を巡りました。神輿・山車が訪れた家々では、神職による剣の舞の奉納などがありました。



今年もありがとうございました。

ありがとうございました 大切にに使わせていただきます

11月6日、吹田市東山田地区公民館、新芦屋自治会が来庁し、3回目の寄附をいただきました。寄附は、地区納涼祭で町産の桃を販売した収益の一部と、東山田地区公民館文化祭で設置した義援金箱に集まった義援金です。吹田市とは、東日本大震災発生後に下水道の復旧のために職員を派遣してもらったのが縁となり、これまで交流を続けています。



あ、昔はよくやったな

昔を思い出し ～石臼で作業～

11月10日、国見の里で入居者などが参加し「石臼を楽しむ会」が開催されました。

これは、福島県北石工組合福祉事業の一環として行われ、石臼を使い自分たちでコーヒー豆を挽き、挽いた豆で美味しいコーヒーを頂きました。また、小坂の佐藤石屋さんが、参加した約200人に目の前で蕎麦をうち、ふるまいました。